



News Letter

No.12

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

平成 25 年 6 月 30 日発行

【本号のトピックス】

第24回学術大会報告／第20回国際老年学会報告／
セミナーコンテンツ案のご提示／ワークショップ参加者募集

第28回日本老年学会総会 日本老年歯科医学会第24回学術大会報告



老年学会での日野原重明先生公開講座



小正 裕大会長のご挨拶



白熱する合同ポスター会場



盛大な懇親会



合同ポスター優秀ポスター表彰式



賑わうポスター会場



多くの聴衆の中での口演発表会場での質疑

2年ごとに開催される日本老年学会と本学会学術大会が、2013年6月4～6日にかけて大阪にて同時開催されました。日本老年学会のテーマは「更なる健康長寿をめざして：超高齢社会における老年学の役割」が掲げられました。日本老年医学会、日本老年精神医学会、日本基礎老化学会、日本老年社会学会、日本老年看護学会、日本ケアマネジメント学会との7学会合同ポスターセッションも行われました。次回の老年学会総会は2015年横浜で開催の予定です。

第20回 国際老年学会報告 本学会会員がBest Poster Award受賞

4年ごとに開催されるInternational Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の国際学会が、韓国ソウル市のCoexにて6月23～27日に開催されました。

今回の学会のテーマは「IT化を迎えた高齢社会(デジタルエイジング): 健やかな老いとアクティブエイジングへの新しい展開」で、その趣旨として以下が掲げられました。「21世紀の情報通信社会は、人の暮らしの質を左右する社会であり、情報通信技術の発達は高齢者の生活利便性を向上させ、高齢者の暮らしの質向上をもたらすプラス面を持っているが、その反面情報格差が拡大し高齢者が情報化社会から取り残されるマイナス面も持っている。このような情報通信社会が与えたプラス面とマイナス面について、「DigitalAgeing」というテーマを掲げ、高齢者の暮らしの質向上に向けた方向性およびビジョンを示す。」以上の趣旨のもと、キーノートレクチャー 10、シンポジウム 39、口演発表 900、ポスター発表1600の大規模な学会でした。学会期間中に発表されたBest Poster Awardを本学会会員の次の3名が受賞しました。

・ Relationship between Functional Deficit of Olfactory and Feeding of Elderly People with Dementia –Especially with Concerns to Alzheimer’s Disease–
渡邊 裕氏(国立長寿医療研究センター口腔疾患研究部口腔感染制御研究室)

・ The Effectiveness of an Oral Health Educational Program on Community-dwelling Elderly with Xerostomia

小原 由紀氏(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯科医療行動科学分野)

・ Saliva of Oldest Old Correlate to the Oral and General Health Conditions:Tokyo Oldest Old Survey on Total Health(TOOTH)

飯沼 利光氏(日本大学歯学部歯科補綴学第I講座)

次回大会は米国サンフランシスコにて2017年に開催予定です。
(本委員会 平野 浩彦)



Coexメイン会場



ポスター会場でのシルバーエイジファッションショー



渡邊 裕氏



小原 由紀氏



飯沼 利光氏

日本老年歯科医学会主催セミナー(研修会など)コンテンツ案

支部組織・地域保健医療福祉検討委員会
水口 俊介

6月に大阪で行われた学会の総会時にもご案内した標記コンテンツ案を下記の通り提示いたします。

「講演会やセミナーを開催したいのだけれど、どのような内容で準備すればいいのか分からない」、「講師の先生はどなたにお願いしていいのかよく分からない」という声をお聞きます。そこで、開催に向けての参考にさせていただきたく、ご提示申し上げた次第です。もちろん、このコンテンツ案がすべてではありません。一つの参考資料としてお考えください。講師のご紹介もさせていただこうと考えております。支部関連の経費も25年度は、少ばかり増額いたしました。是非、前向きにご検討賜ればと存じます。ご相談は、まず学会事務局にお寄せください。

高齢者歯科医学セミナー(案)

高齢者歯科医療概論(講義)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 超高齢社会の成立と社会的問題点 <ul style="list-style-type: none"> ① 超高齢社会の構造 ② 保健・医療・介護・福祉 ③ 社会的ニーズと歯科医学の役割 2. 医学的背景 <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者に多い全身疾患 ② 医療情報の収集と分析、評価 ③ 歯科医療、歯科の介入時の注意点 | <ol style="list-style-type: none"> 3. 診療形態への理解 <ul style="list-style-type: none"> ① 外来診療、訪問診療、入院診療 ② 歯科診療システムの概要 ③ ステージへの対応 4. 加齢の科学 <ul style="list-style-type: none"> ① 生物学的加齢変化(老化と加齢) ② 口腔領域での加齢変化 ③ 全身的な加齢変化 |
|---|---|

高齢者歯科医療各論(講義と演習)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身疾患との関連 <ul style="list-style-type: none"> ① 診療情報の収集(医療面接と照会状)(講義と演習) ② 医療情報の分析(講義と演習) <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧 ・脳血管疾患 ・心疾患 ・糖尿病 ・その他の疾患(腎症、神経疾患、認知症、パーキンソン病、骨粗鬆症、うつ病、サルコペニアなど) ③ 診療時、介入時の注意点(講義と演習) <ul style="list-style-type: none"> ・疾患への対応(偶発症状予防) ・服用薬への対応 ・診療方針、介入方法への配慮 ・問題発生時の対応 2. 口腔機能管理 <ul style="list-style-type: none"> ① 口腔機能とは(講義と演習) ② 咀嚼の生理 ③ 咬合と咀嚼(講義と演習) <ul style="list-style-type: none"> ・咬合の評価 ・咀嚼の評価 ④ 味覚の生理 <ul style="list-style-type: none"> ・基本味 ・味覚異常 ⑤ 唾液の生理 <ul style="list-style-type: none"> ・唾液の組成 ・唾液の役割 ⑥ 口腔衛生と口腔環境(講義と演習) <ul style="list-style-type: none"> ・口腔のケア ・口腔湿潤剤 ・口腔粘膜疾患の病理 ⑦ 発音、構音 ⑧ 口腔乾燥、口臭 3. 歯科訪問診療(講義と演習、臨床実地) <ul style="list-style-type: none"> ① 基本的考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・診療の場 ・診療環境(在宅支援診療所施設基準を含む) ・介護との関連 ・多職種連携 ・在宅診療用器材 ② 評価と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・プロブレムリスト ・診療方針 ・メンテナンス 4. 摂食・嚥下障害(講義と演習、臨床実地) <ul style="list-style-type: none"> ① 正常な摂食・障害機能 ② 摂食・嚥下障害とは ③ 摂食・嚥下機能の評価 ④ 誤嚥 <ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥の評価 ・誤嚥性肺炎 ⑤ 摂食・嚥下リハビリテーション <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリに対する基本的な知識・概念 ・間接訓練 ・直接訓練 ・嚥下食 ⑥ 間接栄養法 <ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養法、胃瘻 ・経腸栄養法、経静脈栄養 ⑦ 多職種連携 5. 栄養ケアマネジメント(講義と演習) <ul style="list-style-type: none"> ① 栄養状態の評価 ② 栄養指導(食育) ③ 多職種連携 6. 終末期医療 <ul style="list-style-type: none"> ① 定義と倫理 ② 現場とニーズ ③ 連携医療 |
|--|--|



ワークショップ

『高齢者の口腔機能低下を病名にできるか』

参加者募集

6月に大阪で開催された第24回学術大会での理事会・総会で提案させていただいたように、下記の要領でワークショップを開催いたします。参加希望の方は、事務局にメールでお申し込みください。先着順にて定員を満した段階で受付終了といたします。奮ってご応募いただきますよう、お願いいたします。

テーマ：『高齢者の口腔機能低下を病名にできるか』

G I O：高齢者、特に要介護者に高頻度に出現する口腔機能低下に対する的確な歯科医療の介入を行うために、高齢者医療・介護・福祉を担う人材が共通して理解できる口腔機能低下に対する病名を提案する。

日時：平成25年10月26日(土)

午後1時開始～27日(日)正午終了

場所：東京セミナー学院（東京・池袋駅西口から徒歩5分）

募集人数：20名程度（本テーマでのWSに積極的に参加を希望する正会員）

募集期間：平成25年7月20日(土)～8月31日(土)先着順

費用：会場費、交通費(往復)、宿泊費(指定)、食事(26日夕食・27日朝食)は、学会で支弁する。

ディレクター：森戸 光彦

コ・ディレクター：羽村 章、櫻井 薫、下山 和弘

お申込み先：一般社団法人日本老年歯科医学会
事務局 gakkai21@kokuhoken.or.jp

海外の老年歯科医学関連学会情報

国際渉外委員会

European Society for Swallowing Disorders (ESSD)

会期：2013年9月12日(木)～14日(土)

場所：マルメ(スウェーデン)

<http://www.essd2013.org/>

European College of Gerodontology (ECG)

会期：2013年10月4日(金)、5日(土)

場所：グラーツ(オーストリア)

<http://www.ecg2013.at/>



編集後記

今年は2年に一度、老年学に関連する7学会が共催する第28回日本老年学会総会が大阪で開催され、第24回日本老年歯科医学会総会・学術大会も盛会に催されました。会期中は夜まで大変な盛り上がりで、大会長の大阪医科大学の小正大会長、高橋準備委員長はじめ医局スタッフの皆様方にこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

さらに今年は4年に一度開催されるThe 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics(第20回国際老年学会)が韓国ソウルで開催されました。この6月は老年学を学ぶ者にとっては、大変忙しく、また今後の臨床や研究の糧や意欲をチャージできた充実した一カ月となったものと思われます。私も大阪とソウルで食い倒れ、エネルギーをたっぷりチャージしてまいりました。これで来年の博多の老年歯科医学

会、2年後の横浜の老年学会、4年後のサンフランシスコのIAGGまで乗り切っていけると思います。

最後になりましたが、これからも会員の皆様に、有益な情報を提供して参りたいと思いますので、引き続きNews Letterを宜しくお願い申し上げます。

(渡邊 裕)

発行人 森戸 光彦

編集 日本老年歯科医学会広報・研修委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル401 (一財)口腔保健協会内

電話 03-3947-8894 ファクス 03-3947-8341

